



12月21日

わくわく読み聞かせ

クリスマスを前に、読み聞かせイベント「第22回 喜楽星の語り庭あつとーめーのささやき」が町民ギャラリーで開催されました。「ねずみくんのクリスマス」、「くるみわり人形」、「あのね、サンタの国ではね…」などの絵本に子どもたちは目をキラキラさせて聞き入っていました。

また、クリスマスによく歌われる賛美歌「もろびとこぞりて」からクリスマスの起源を学んだ後、暗闇の中で光って動く絵本やミニコンサートも楽しみ、またサプライズで登場したサンクローズからお菓子をもらったりと盛りだくさんの夜になりました。次回の読み聞かせイベントは7月に開催を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



1月14日

すくすく育て ウマリトウイタティ



五穀豊穡や子孫繁栄を司るとして棚原区にまつられている「ミルク加那志」の誕生日とされる旧暦12月20日にちなみ、昨年1年間に生まれた赤ちゃん16名と家族がノロ殿内に集まって赤ちゃんの誕生を報告し健康を祈願する恒例行事が行われました。結果ちゃんと参加した慶田元夫妻は「地域のこういう集まりに初めて参加してとても嬉しい。今後も参加していきたい」と笑顔を見せました。城間盛順自治会長は、「新生児の明るい未来に向かって、健康でいい年でありますように」と祝福しました。



▲ミルク加那志(H17年棚原西暦12年まーるあしび)

1月10日

東部消防出初式



令和2年東部消防組合「消防出初式」が同組合構内本部で開催されました。式では管理者による特別点検と表彰、指揮隊・特別救助隊発足式、南風原町幼年消防クラブのなのはな保育園の園児によるエイサーの披露や消防署員と消防団員による合同一斉放水が行われました。また、展示訓練では高所に要救助者が逃げ遅れたことを想定し、4つの代表的な救助法を行うなど日頃の訓練の成果を披露し、新年の決意を新たにしました。



12月20日

子ども達に伝えたい沖縄の宝  
首里城復興を願って



ハイサイ学童・あがり学童(知念涼子代表)の園児たちが、焼失した首里城の復興を願い、お手伝いをして貯めたお小遣い20,415円を那覇市首里城火災に対する支援金活動事務局に寄附しました。子どもたちからは「まだ首里城に行った事がないので、早く復興しますように」との声が聞かれ、知念涼子代表は「首里城が無くなって初めて大切さが分かった。子ども達が大人になる頃には無事復元される様、子どもたちと保護者みんなで願いを込め募金しました」と思いを語りました。

12月24日

西原町まちづくり講演会  
～MICEシティ西原の展望～



西原町まちづくり推進協議会(福里重盛会長)による「西原町まちづくり講演会」が町中央公民館で開催され、約180名の参加がありました。初めに「県外の都市モノレールとまちづくり」の視察研修報告や県都市計画・モノレール課の仲嶺室長による「ゆいレール延長事業」の取組状況が説明されました。

また、浦添市都市建設部の宮城参事より、「モノレール新駅を中心とした浦添のまちづくり」について講演が行われ、その町らしい特色と公共交通を組み合わせたいろいろなアイデアに西原町のまちづくりの夢が広がる講演会となりました。

12月2日

坂田小 美しい歌声で全国銀賞



坂田小学校音楽部が町役場を訪れ、第72回全日本合唱コンクール全国大会で初めて行われた小学校部門において、銀賞を受賞したことを報告しました。代表して訪れた児童4人(喜納陽花6年、西原茉依里6年、池間有彩5年、新里美佳5年)は、「厳しい練習を頑張ったことで本番では最高の演奏ができた。舞台上立つと緊張したが楽しく歌う事ができた。他の学校の良さも知り来年に活かせる」と感想を述べました。指導をした棚原教諭は、素直・感謝・謙虚な心で練習に励み大きな結果を残した子供たちをたたえました。

12月15日

みんなの幸せを願って クリスマス会



町しょうがい児者父母の会主催のクリスマス会が西原町社会福祉センターで開催されました。参加者は、かりゆし太鼓など多くの余興を楽しんだり、さわりと踊ったり、サンタさんからプレゼントをもらったりと大興奮の中、親睦を深めました。

